

平成16年度 決算報告書

国立大学法人 琉球大学  
(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	14,988	14,988	0	
施設整備費補助金	215	88	△ 127	(注1)
船舶建造費補助金	0	0	0	
施設整備資金貸付金償還時補助金	16	16	0	
国立大学財務・経営センター施設費交付金	0	0	0	
自己収入	14,408	14,453	45	
授業料及び入学金及び検定料収入	4,322	4,043	△ 279	(注2)
附属病院収入	9,917	10,244	327	(注3)
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	169	166	△ 3	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	750	1,599	849	(注5)
長期借入金収入	225	220	△ 5	(注6)
承継剰余金	0	144	144	(注7)
計	30,602	31,508	906	
支出				
業務費	27,336	26,440	△ 896	(注8)
教育研究経費	12,993	12,061	△ 932	
診療経費	9,935	10,030	95	
一般管理費	4,408	4,349	△ 59	
施設整備費	440	308	△ 132	(注9)
船舶建造費	0	0	0	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	750	806	56	(注10)
長期借入金償還金	2,076	2,076	0	
計	30,602	29,630	△ 972	
収入-支出	0	1,878	1,878	

○予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備費補助金については、基幹・環境整備にかかる債務を翌年度へ繰越したため、予算額に比して127百万円少額となっています。
- (注2) 授業料及び入学金及び検定料収入については、17年度入学者にかかる授業料の前年度収納を実施しなかったことにより、予算額に比して279百万円少額となっています。
- (注3) 附属病院収入については、手術件数増等の要因に伴う入院診療単価上昇等により、予算額に比して327百万円多額となっています。
- (注4) 雑収入については、学生寄宿舍の入居率低下等により、予算額に比して3百万円少額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入については、承継委任経理金の受入れ等により、予算額に比して849百万円多額となっています。
- (注6) 長期借入金収入については、契約金額が予算額を下回ったため、予算額に比して5百万円少額となっています。
- (注7) 損害賠償訴訟費用等にかかる承継剰余金を受け入れたため、予算額に比して144百万円多額となっています。
- (注8) 業務費については、退職手当給付額の減少等により、教育研究経費が予算額に比して932百万円少額、光熱水料等経費の節減に努めたため、一般管理費が予算額に比して59百万円少額となっています。また、緊急の修理等により診療経費が予算額に比して95百万円多額となっています。
- (注9) 施設整備費については、注1に示した理由等により予算額に比して△132百万円少額となっています。
- (注10) 産学連携等研究費及び寄附金事業等については、注5に示した理由等により予算金額に比して決算額が56百万円多額となっています。